

ジェンダーと宗教研究センター RA研究会

「慰安婦」制度を経験した女性たちに向き 合う姿勢：理論的コアとしての縁起思想

山田 直史 (GRRC RA、立命館大学大学院博士後期課程)

討論者：末木 文美士 (国際日本文化研究センター名誉教授)

司 会：清水 耕介 (GRRC研究員、龍谷大学国際学部教授)

2015年の日韓合意以降も、未だ論争が続く「慰安婦問題」。日韓合意において本問題は最終的・不可逆的に解決済みと日本政府が主張し続ける一方、「慰安婦」制度を経験した韓国人女性たちの一部は、本合意に反対し、現在も日本政府へ働きかけを行なっている。

このような現状において、私たちは、どのように「慰安婦問題」を考えていけば良いのだろうか。本研究会では、国家間関係を中心とするのではなく、大乘仏教における縁起思想を手がかりに、「慰安婦」制度を経験した女性たちへの向き合い方に焦点を当て議論する。

詳細

日時：2023年1月22日（日）10:00～12:00

会場およびオンライン配信によるハイブリッド形式で開催

(※事前申込制、申込締切：2023年1月20日（金）12:00)

■ 会場[大宮学舎東翼211教室]参加

右のリンクよりお申し込みください。 <https://forms.gle/qMQzizqJ6bra86626>



■ オンライン参加

右のリンクよりお申し込みください。 <https://forms.gle/W7J1K5dM4n2n3HAdA>

